
徒然なるネギま!!なお話

やくま

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

徒然なるネギま！！なお話

【Nコード】

N2349W

【作者名】

やくま

【あらすじ】

近衛詠春に拾われて養子となった主人公が、ある事件で生き残る為に九尾の狐と契約して半妖(?)になってしまった。
ドンパチやかしながら半身と成った九尾の狐とともにネギま！！
な世界を駆け抜けるお話です。

プロローグ（前書き）

書くのに手間取りました。

初投稿ですがとどころどおかしくてもご容赦を。

プロローグ

関西呪術協会総本山 近衛本家

朝、いつもの様に目を覚まして家の中騒がしい事に気が付いた。

用意しておいた服に手早く着替えると襖の向こうから

「黒羽様くわは、起きていらっしやいますか??」

「何か、騒がしいですね…、何かあったのですか?」

「鬼が大量発生しているとの事で、長からの言伝いんてんで今すぐ本殿の方に来て欲しいとの事です。」

「はい、分かりました。わざわざありがとうございます。」

巫女にそう言っつて、言われた通りに本殿に行くと、養父である近衛詠春が待っていた。

「黒羽、良い所に来ました。」

偵察部隊が鬼達の居場所を掴んだのですが、他の場所の鬼の数が多すぎて手が回らないのです。

貴方に1部隊を率いて貰い、殲滅して貰いたいのですが、よろしいですか?

下級の鬼らしいのでそう苦労はしないと思います。」

「分かりました。では準備が済み次第すぐにも出発したいと思えます。」

プロローグ（後書き）

感想とかあれば作者の友達がフルバーストします（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2349w/>

徒然なるネギま!!なお話

2011年10月9日14時56分発行